

令和7年度 浜松市医療奨励賞申請研究論文・活動報告（実績明細）

研究論文・活動報告名

浜松市における准看護師養成事業の実績と今後の課題

団 体 名 又 は 所 属	浜松市医師会看護高等専修学校
代 表 者 名 又 は 氏 名	長坂 士郎
共同研究者	磯部 智明 滝浪 實 浅野 道雄 幸田 隆彦 鶴 信雄 小野 宏志 岡崎 貴宏 畠倉 久紀
	浜松市医師会看護高等専修学校運営委員会

内容の要約

1 活動目的

浜松市の医療向上に貢献できる准看護師の育成

2 活動内容

一般入試、推薦による選抜を経て本校に入学した学生は、入学後の総時間数 1860 時間に及ぶ医学・看護教育で、どんな医療機関でも通用する医療知識を習得している。また当校の充実した情操教育と年間行事による医療人として豊かな感性や想像力を育むことで患者さんを思いやり、主体的に考え方行動する力をもった准看護師になることを目標としている。教員側の自己点検・自己評価も定期的に行い、教育の質も担保している。

3 結果

本校の 70 年の歴史の中で、約 3000 人の准看護師を輩出し、現時点で約 17% 程度の正看護師へのキャリアアップも実現している。

4 考察

准看護師の比率の多かった昭和時代において、本校の浜松市・静岡県の医療への貢献は大きかったが、准看護師から看護師へのシフトが進む中、入学希望者の減少が進んでいる。しかし看護の道を志したいが正看護師になるには年齢や経済的に困難な人々は一定数おり、本校は静岡県に唯一の准看護学校養成校として、そういう方々の夢を実現できる養成機関であり続けたいと考えている。入学希望者の潜在需要のある介護施設やクリニックなどへの宣伝活動をさらに広げていき、入学者減少を開拓していくことを考えている。また本校は今後も正看護師へのキャリアアップを実現できるよう、進学希望者に対する積極的なサポート等支援していく事が、本校の活動目標のひとつである。本校の前身、浜松博愛看護婦学校開校以後 100 年の歴史が育んだ厳格な情操教育は、誇るべき特色であり、今後も共感力、対人コミュニケーション・感情労働に長けた准看護師を養成し続けていきたいと考えてい

る。

5まとめ（この研究・活動により得られた点・優れた点など）

本校の准看護師育成の長い歴史と浜松市・静岡県への貢献についてまとめ、現在の准看護師育成事業の問題点をはっきりさせたことで、本校の今後の課題と方向性が明確になったと考える。